

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年12月21日（木）

2 確認箇所

既設ALPSサンプルタンク

3 確認項目

既設ALPSサンプルタンク堰内の現況

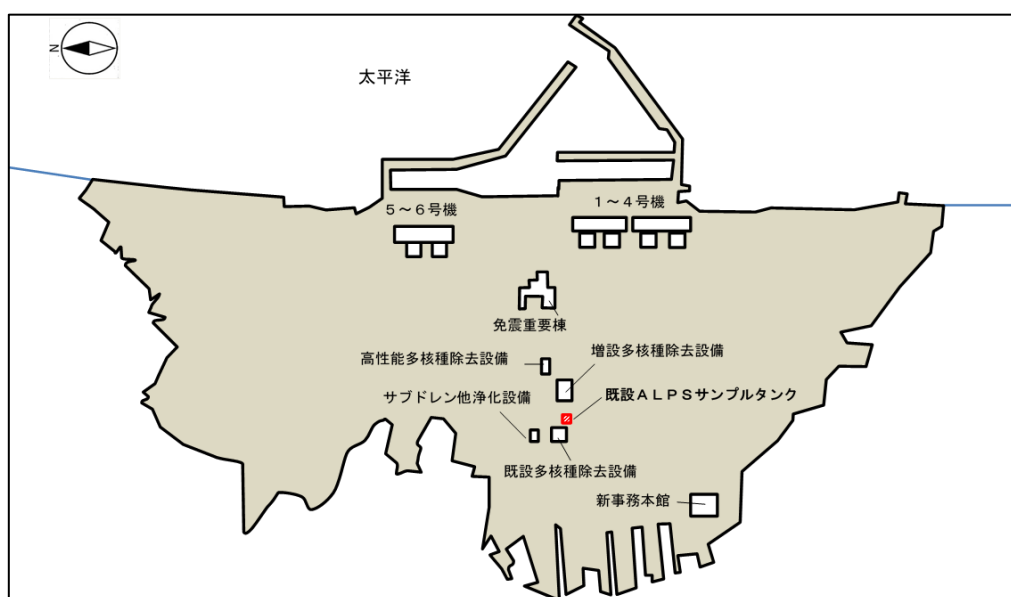
4 確認結果の概要

既設多核種除去設備（以下「既設ALPS」という。）で処理された水は、原則として増設ALPS及び高性能ALPSにおいて使用している溶接型サンプルタンクに移送する運用としているが、点検等の場合にはフランジ型である既設ALPSサンプルタンクが使用される場合がある。

本日は、既設ALPSサンプルタンクの現況について確認を行った。

（図1）（写真1）

- ・現場確認時、既設ALPSサンプルタンク堰内の床面は乾いた状態であった。（写真2）
- ・既設ALPSサンプルタンク周辺床面の塗装つなぎ目において、再塗装が実施されていた。（写真3）
- ・既設ALPSサンプルタンクに設置されている弁は閉じられており、操作禁止タグが設置されていた。また、保温材の一部が取り外された状態であった。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
既設ALPSサンプルタンク外観
(南西側から撮影)



(写真2)
既設ALPSサンプルタンク堰内の
状況



(写真3)
既設ALPSサンプルタンク周辺床
面塗装つなぎ目における再塗装の実
施状況



(写真4)
堰内の弁の状況

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。